

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

デンカ株式会社（証券コード:4061）

【変更】

長期発行体格付	A	→	A+
格付の見通し	ポジティブ	→	安定的
債券格付	A	→	A+
発行登録債予備格付	A	→	A+

【据置】

国内CP格付	J-1
--------	-----

■格付事由

- カーバイド系事業を発祥とする化学会社。中核の青海工場は、石灰石や水力発電所などの豊富な自社資源を強みとする。世界シェアトップのクロロブレンゴム（CR）、熔融シリカのほか、電子部品・半導体搬送用部材、医薬関連製品など幅広い製品を手掛ける。現経営計画では、事業ポートフォリオの変革を成長戦略の一つに掲げ、世界で競争力を有し、外部環境の変化の影響を受けにくいスペシャリティー事業の拡大に努めている。生産や研究開発のプロセス改革を通じた生産性向上にも注力している。
- 経営計画に沿った取り組みを背景に、近年、当社の収益力は高まっている。世界的な景気減速の影響などを受け、足元ではCRや半導体関連分野向け製品などの販売が弱含んでいるが、それらの競争力は維持されている。事業環境が悪化する中でも、当面、過去最高水準の営業利益を確保できるとJCRではみている。財務面では、利益の資本蓄積が着実に進んでいる。積極的な成長投資を行いながらも、良好な財務体質を維持できよう。以上を踏まえ、格付を「A+」に引き上げ、見通しを安定的とした。
- 20/3期の会社計画は売上高4,000億円（前期比3.2%減）、営業利益350億円（同2.3%増）である。米中貿易摩擦の長期化など外部環境の悪化に伴い、当社は19年11月に業績予想を下方修正した。ただ、景気感応度が低い検査試薬やインフルエンザワクチンなどの医薬関連製品が業績を下支えするとみられる。CRは米国拠点の買収以降、それ以前に比べ高い収益力を保っている。また、車両電動化など多様な用途に使用される球状アルミナやアセチレンブラックなどが好調であり、今後もこれらが業績をけん引していくと考えられる。
- 好業績を背景とする自己資本の増加により、18/3期末以降の自己資本比率は50%を上回って推移している。DERも0.4倍台と財務構成は良好である。現経営計画では、19/3期以降の5年間で計2,000億円の投資を行う計画である。20/3期は450億円の投資が予定され、21/3期以降も積極的な投資が続くと想定されるが、フリーキャッシュフローはプラスを維持できる可能性が高いとみられる。安定した財務基盤が保たれるとJCRではみている。

（担当）藤田 剛志・佐藤 洋介

■格付対象

発行体：デンカ株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第19回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2015年3月4日	2020年3月4日	0.312%	A+
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	70億円	2017年9月12日	2024年9月12日	0.270%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 21 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2018 年 4 月 23 日	2025 年 4 月 23 日	0.280%	A+
対象	発行予定額	発行予定期間		予備格付	
発行登録債	600 億円	2018 年 3 月 30 日から 2 年間		A+	

【据置】

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	250 億円	J-1

格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2019 年 11 月 11 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：窪田 幹也
主任格付アナリスト：藤田 剛志
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014 年 11 月 7 日）、「化学」（2012 年 3 月 26 日）として掲載している。
- 格付関係者：
（発行体・債務者等） デンカ株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル